

重点課題

1 経済・生活対策の実施

急激に冷え込む現在の景気や雇用情勢を踏まえ、市独自の雇用対策や公共事業の前倒し実施などに取り組んできました。今後も、国や北海道の対策にも呼応しつつ、総合的な対策を積極

2 財政の健全化の推進

市の財政は、平成17年度から平成21年度までの5年間で116億円の財源不足が見込まれていました。そのため市は、各種事業の見直しのほか、内部管理経費の削減や企業誘致による税の増収など、「財政健全化対策」を進

めてきました。その結果、当初の財源不足は、ほぼ目標どおり解消できる見込です。財政健全化対策の期間は平成21年度で終了しますが、今後の適正な財政運営のあり方を示す「千歳スタンダード」を検討し、徹底した行財政改革と財政の健全性確保への努力を継続します。さらに、土地開発公社の経営健全化にも積極的に取り組みます。

重点施策

市民力とまちの特性を生かし、幸せを実感できるまちの実現を目指して重点施策を設けています。平成21年度は46の継続事業に休日保育、高機能消防指令センターの更新、消防救急デジタル無線の整備を加えた49事業に取り組みます(図2)。

【図1】平成21年度の経済・生活対策の内容

中小企業	地域経済活性化	農業	社会保障・生活	雇用
▼中小企業への小口企業資金融資の実施	▼工事請負費の事業量確保 ▼地域子育て応援事業の実施 ▼観光基本計画の策定 ▼ご当地グルメの開発 ▼特産品コンクルの実施 ▼支笏洞爺国立公園指定60周年記念事業の実施	▼農業振興資金の貸付拡大	▼年金記録問題への対応 ▼障がい者の自立支援への対応 ▼妊婦健診の助成拡充 ▼奨学金の拡大 ▼介護従事者の処遇改善 ▼後期高齢者医療制度保険料の負担軽減	▼雇用保険料の引き下げ ▼臨時的任用職員の採用 ▼新規採用職員の前倒し採用 ▼緊急雇用の創出(補正予算で実施)

【図2】平成21年度の重点施策の体系

